

## 国際シンポジウム「スマートな建物たちのこれから –空間知能化最前線–」開催報告

「空間知能化」技術は、高齢者対応、省エネ、施設や街区・道路・生産現場の安全安心、生産施設の生産性向上などを目的として発展してきている。

近年では、複雑システムの代表である生物の本質に学ぶ研究も進み、また空間とロボットの協調・連携についても議論が進んでいる。

本シンポジウムでは国際的な視野から「空間知能化」の最新情報を交換し、今後の方向を究明した。

開催日:2015年12月19日(土)13:00~17:30

会場:東工大蔵前会館 くらまえホール

主催:NPO 国際建設技術情報研究所

協賛:株式会社 日本建築住宅センター、建築研究開発コンソーシアム

日本サステナブル建築協会、慶應義塾大学グローバルスマート社会創造プロジェクト

後援:日本建築学会、日本ロボット工業会、日本免震構造協会、日本建築構造技術者協会

企画協力:科学技術エキスパート会議、建築研究開発コンソーシアム生命化建築研究会

参加者:一般47名、学生43名、取材他11名 **合計101名**

内容:

### ■基調講演 “Ubiquitous Life Support System”

トーマス ボック氏 (ミュンヘン工科大学 教授)



トーマス ボック氏

### ■第1部 生命化建築

#### 「生命化建築とは」

三田 彰氏 (慶應義塾大学 理工学部  
システムデザイン工学科 教授)



三田 彰氏

#### 「ロボットと共生する生活空間デザイン」

渡邊 朗子氏 (東京電機大学 未来科学  
建築学科 准教授)



渡邊 朗子氏

#### 「脳波によるヒューマンインタフェース」

満倉 靖恵氏 (慶應義塾大学 理工学部  
システムデザイン工学科 准教授)



満倉 靖恵氏

### ■第2部 空間知能化と建築生産

#### 「ユビキタス・ロボティクス」

安藤 慶昭氏 (産業技術総合研究所  
ロボットイノベーション研究センター  
ロボットソフトウェアプラットフォーム研究チーム長)



安藤 慶昭氏

#### 「建築生産への適用」

前田 純一郎氏 (NPO 国際建設技術情報研究所理事)



前田 純一郎氏

